

# 森本 敏 (もりもと さとし)

安全保障スペシャリスト

拓殖大学特任教授、前防衛大臣



## 【プロフィール】

昭和16年生まれ。防衛大学理工学部卒業後、防衛庁入省。昭和52年に外務省アメリカ局安全保障課に出向。昭和54年外務省入省。在米日本国大使館一等書記官、情報調査局安全保障政策室長など一貫して安全保障の実務を担当。専門は安全保障、軍備管理、防衛問題、国際政治。平成4年より野村総研主任研究員(～平成13年3月)。平成7年より慶應大学・同大学院にて特別招聘教授、非常勤講師を兼任(～平成11年3月)。平成9年より中央大学・同大学院にて客員教授(～平成14年3月)。平成11年より政策研究大学院大学(～平成15年)、聖心女子大学非常勤講師を兼任(～平成23年3月)。平成12年より拓殖大学国際学部教授(～平成19年3月)。平成17年より拓殖大学海外事情研究所所長(～平成24年6月)、拓殖大学教授(現職)。平成21年より東洋大学客員教授(～平成22年)。平成21年8月初代防衛大臣補佐官に就任(～同年9月)。平成24年6月第11代防衛大臣に就任(～同年12月)。

## 【主要著書】

- 「それでも日本は原爆を止められない」(共著、産経新聞出版、平成23年10月)
- 「日本の瀬戸際—東アジア最大の危機に日本は生き残れるか」(単著、実業之日本社、平成23年2月)
- 「普天間の謎—基地返還問題迷走15年の総て」(単著、海竜社、平成22年7月)
- 「漂流する日米同盟—民主党政権下における日米関係」(監修、海竜社、平成22年5月)
- 「日本防衛再考論—自分の国を守るということ」(単著、海竜社、平成20年5月)
- 「岐路に立つ日本の安全—安全保障・危機管理政策の実際と展望—」(監修、北星堂、平成20年1月)
- 「国民として知っておきたい日本の安全保障問題」(編著、海竜社、平成19年12月)
- 「日米同盟の危機—日本は孤立を回避できるか—」(共著、ビジネス社、平成19年4月)
- 「国防の論点」(共著、PHP研究所、平成19年3月)
- 「米軍再編と在日米軍」(単著、文藝春秋社、平成18年9月)
- 「早わかり国民保護法制」(共著、PHP研究所、平成17年8月)
- 「森本敏の眼—日本の防衛と安全保障政策」(単著、グラフ社、平成17年3月)
- 「有事法制」(共著、PHP研究所、平成15年1月)

## 【主要論文】

- 「東日本大震災と国家の危機管理—課題と問題点」(海外事情、平成23年7・8月号)
- 「機動的運用主眼の『動的防衛力』へ—新防衛大綱と日本の安全保障」(改革者、平成23年2月号)
- 「日米同盟の深化と課題」(海外事情、平成23年1月号)
- 「東アジアの安全保障と日米同盟」(海外事情「報告」、平成23年)

<森本敏公式ホームページ> URL: <http://www.office-morimoto.net>

<森本敏公式Facebookページ> URL: <http://www.facebook.com/satoshi.morimoto.official>

<拓殖大学海外事情研究所>

〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14

Tel. 03-3947-9430 (内線 1580) / Fax. 03-3947-9337 (内線 1589)